

令和4年7月

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会 兼「0歳からの立腰・体幹遊び」講座

マナーキッズ® 講師養成講習会シリーズ

怪我をしやすい子供、正しく座れない子供、落ち着きがない子供が増えている。

その理由は、姿勢が悪く、「体幹」が育っていないから。

体幹の身についた子供は、美しい姿勢になり、運動能力が高まり、学力も向上する。

3歳からでは遅い、0歳から乳幼児・児童の発達に応じた「立腰・体幹遊び」で、子供の心も体も健康に!!

人間形成の礎石となる「三つ子の魂」を育むことが必須!!

1. 開催日時

令和4年7月31日(日) 10時~16時15分(9時30分受付開始)

検温、他の参加者との距離等新型コロナ対策をとり開催します。
新型コロナウイルスの影響で会場での講習会兼講座は中止することがあります。

2. 開催場所

福岡県豊前市立多目的文化交流センター

住所:〒828-8501 福岡県豊前市大字吉木955 電話:0979-53-9535

最寄り駅:宇島駅から直線距離で762m

3. 講師

江寄尚子(福岡県福岡市清水保育園長 0歳からの立腰教育)

居関達彦(公益財団法人外遊び体育遊具協会 安田式体育遊び研究所所長 運動遊びが子供の脳とからだを鍛える)

道見重信(一般財団法人食と健康財団理事長 食と健康)

田中日出男

(公益社団法人マナーキッズ。プロジェクト理事長 マナーキッズ。体幹遊び教室司会進行要領、「マナーキッズ。」調べ、根本正雄根本わくわく体操教室代表 0歳からの体幹遊び、鈴木万亀子小笠原流礼法的伝承師範 日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶、家庭の躰を紹介)

4. 時間割内容

10:00~10:10 開会挨拶、開催趣旨説明(田中日出男)

10:10~11:30 0歳からの立腰教育(江寄尚子)

11:30~12:00 運動遊びが子供の脳とからだを鍛える(居関達彦)

12:00~13:00 昼食

13:00~13:30 運動遊びが子供の脳とからだを鍛える(居関達彦)

13:30~14:50 マナーキッズ。体幹遊び司会進行要領 含む

日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶、「マナーキッズ。」調べ(田中日出男)

14:50~15:00 休憩

15:00~16:00 食と健康、健康の鍵は3~5歳位までに決まる腸内細菌(道見重信)

16:00~16:15 修了証授与、閉会挨拶

5. 参加費

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会受講者 10,000円(教材費2,000円含む)

「0歳からの立腰・体幹遊び」講座受講者 2,000円

6. 修了証

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会受講者には

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会修了証を交付します。

7. 募集人員

各30名以内(先着順)

8. 対象

小学校・幼稚園教諭、認定こども園保育教諭、保育士、校長、園長、元教諭、元保育士、元校長、元園長、各スポーツ、音楽・文化活動指導者、シニア、学生、その他マナーキッズ®の普及活動に関心のある方々。
なお、「0歳からの立腰・体幹遊び」講座は、子育て中、これから子育てをする保護者が対象です。

9. 服装

運動ができる服装 運動靴

10. 申込先

右記の参加申込フォームからお申込みください。

定員に達した場合は、

令和4年7月22日(金)までにご連絡します。



参加申込フォーム

<https://forms.gle/ytsjnpWvzaF9bRKN8>



主催:  公益社団法人
マナーキッズ® プロジェクト

後援: スポーツ庁 豊前市 豊前市教育委員会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階 TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580
E-mail: office365@mannerkids.or.jp URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

マナーキッズ

検索

人間形成の礎石となる 「三つ子の魂」を育むことが必須

リつよう
立腰
(腰骨を立てる)



- ① まず、お尻をウンと後ろに引く
- ② 次に、お尻のやや上方の腰骨をできるだけ前方に突き出す

森信三氏(教育哲学者)提唱
協力 一般社団法人実践の家 NPO法人人の土台づくり

0歳からの体幹遊び®



富山房インターナショナルより発行

いじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギー等
日本の子供の憂慮すべき現代的(社会的)課題を
このまま放置していいのでしょうか？

「0歳からの^{リつよう}立腰・体幹遊び®」により、姿勢が良くなり、
「学力が向上する」「スポーツが上達する」基盤作りになります

「マナーキッズ®」調べ



姿勢・挨拶



「よろしくおねがいします」
「ありがとうございます」と
言ってからからだをたおす

食と健康



監修 日本栄養学会